

第14節 景観

14-1 調査

1. 調査項目及び調査地点等

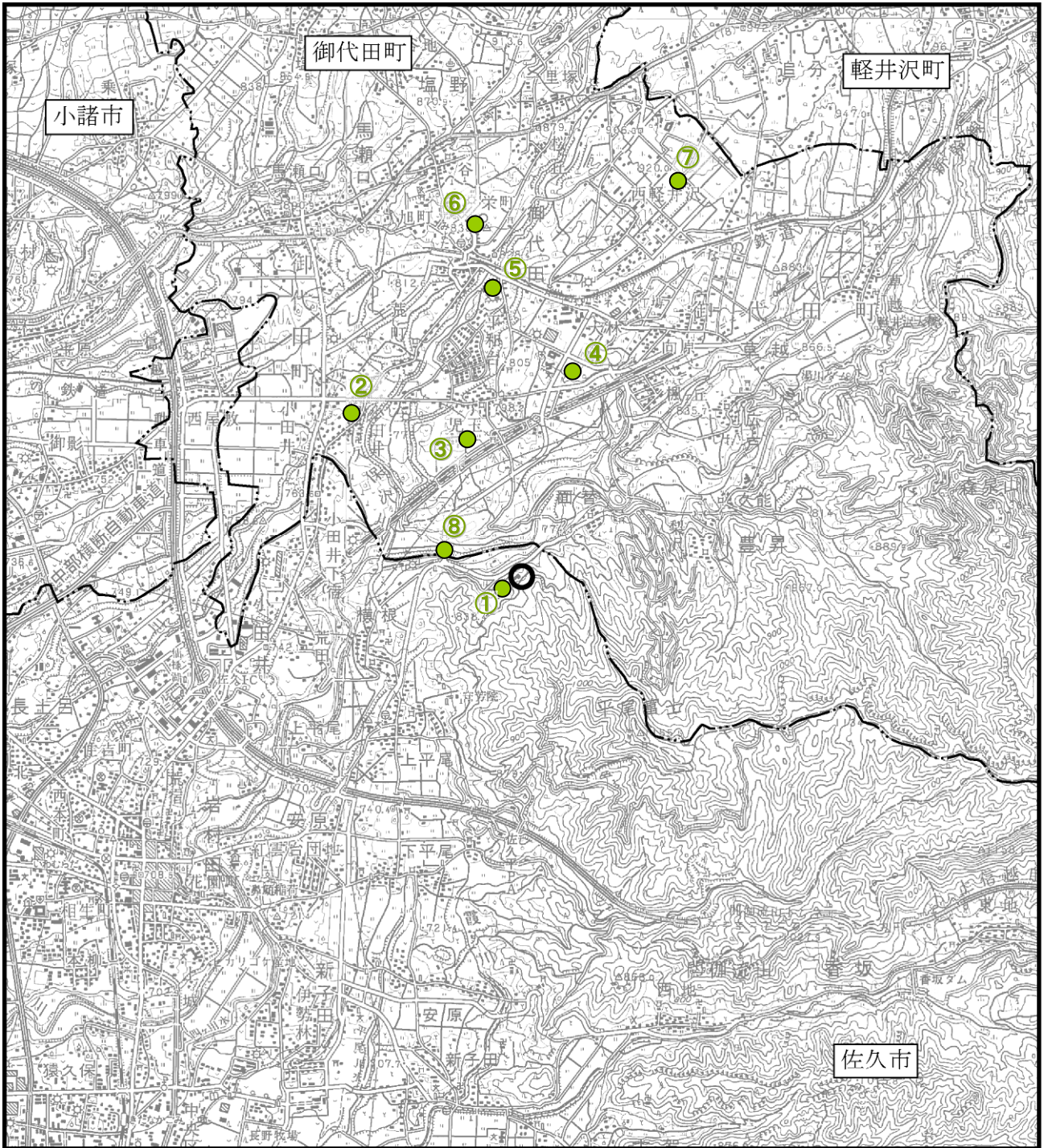
調査項目及び調査方地点等を表5-14-1、2及び図5-14-1に示す。

表 5-14-1 現地調査項目（景観）

環境要素	調査項目	調査方法	調査頻度・時期	調査地点数
景観 ・景観資源・ 構成要素 ・主要な景観	景観資源 構成要素	現地踏査及び写真撮影	1回	8地点
	主要な景観	現地踏査及び写真撮影	4回/年（春季、夏季、 秋季、冬季）	

表 5-14-2 景観に係る現地調査地点

調査項目	地点 番号	地点名	設定根拠
主要な景 観	①	佐久スキーガーデンパラダ (北パラダセンターハウ ス・ゲレンデ)	主要な眺望資源である浅間山を眺望できる地 点であるため、調査地点として選定した。
	②	中山道小田井宿跡	主要な眺望資源である平尾富士及び八ヶ岳連 峰を眺望できる地点であるため、調査地点とし て選定した。
	③	飯綱タウン	主要な眺望資源である平尾富士及び八ヶ岳連 峰を眺望できる地点であるため、調査地点とし て選定した。
	④	雪窓公園	主要な眺望資源である平尾富士及び八ヶ岳連 峰を眺望できる地点であるため、調査地点とし て選定した。
	⑤	龍神の杜公園	主要な眺望資源である平尾富士及び八ヶ岳連 峰を眺望できる地点であるため、調査地点とし て選定した。
	⑥	御代田町役場	主要な眺望資源である平尾富士及び八ヶ岳連 峰を眺望できる地点であるため、調査地点とし て選定した。
	⑦	越生学園グラウンド付近	主要な眺望資源である平尾富士及び八ヶ岳連 峰を眺望できる地点であるため、調査地点とし て選定した。
	⑧	ふるさと大橋	主要な眺望資源である平尾富士を眺望できる 地点であるため、調査地点として選定した。

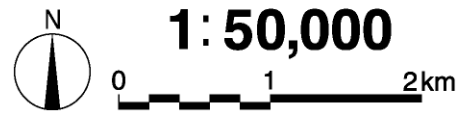


凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 景観調査地点 (①~⑧)

図 5-14-1 景観調査地点

— · — · — : 市町界



2. 調査結果

1) 景観資源・構成要素

(1) 地形的特徴

対象事業実施区域は、平尾富士(標高 1,156m)の北西斜面山裾にある。北には浅間山(標高 2,542m)があり、緩やかな裾野を広げる。浅間山と平尾富士の間には、千曲川の支川である湯川が東北東から西南西に流れており、段丘面(平坦面)がみられる。

対象事業実施区域の眺望は、湯川を挟んだ北側からの眺望が開けているのに対し、南側からの眺望は山地等によって閉ざされている。

(2) 植生・土地利用の状況

対象事業実施区域及びその周辺は、対象事業実施区域のある平尾富士は主としてカスミザクラ・コナラ群落やクリ・ミズナラ群落を主体とする落葉広葉樹林とカラマツ植林やアカマツ群落などの針葉樹林が混在している。

また、湯川を挟んだ北側は比較的平坦な地形となっており、耕作地や住宅からなる地域となっている。

2) 主要な景観

主要な景観の調査結果を表 5-14-3(1)、(2)に示す。

表 5-14-3(1) 主要な景観の状況

調査地点	主要な景観の状況
①a 佐久スキーガーデンパラダ(北パラダセンターハウス)	スキー場は12月下旬から3月下旬までのスキーシーズンに営業を行っており、スキー場が営業を行っていない期間は一般の利用はない。センターハウスの右手に見える一段高くなっている造成面が対象事業実施区域であり、現在は駐車場として利用されている。 ゲレンデの背後に法面、樹林地が視認され、秋季・冬季には落葉により色彩が変化する。
①b 佐久スキーガーデンパラダ(北パラダゲレンデ)	平尾富士山頂から北側斜面にかけて4本のコースがあるが、そのうちの初心者用コースから、ほぼ正面に浅間山を望むことができる。また、センターハウスの右手にある造成面が対象事業実施区域である。 ゲレンデの周りやセンターハウスの奥には樹林が視認され、秋季・冬季には落葉により色彩が変化する。
② 中山道小田井宿跡	千本格子や街道脇の用水など、宿場町の佇まいが残されている。町指定史跡である脇本陣跡付近から、平尾富士が視認される。 道路沿いは建物が立ち並んでおり、対象事業実施区域のある平尾富士を眺望できる地点はほとんどなく、建物の間からその一部が見える程度である。
③ 飯綱タウン	畑地のあいだにある道路から、対象事業実施区域方向を眺望する地点である。畑やビニールハウスの背後に、平尾富士の緑が眺望される。佐久スキーガーデンパラダ(北パラダ)のゲレンデも視認される。 秋季・冬季には落葉により色彩や見通しに変化する。

表 5-14-3(2) 主要な景観の状況

調査地点	主要な景観の状況
④ 雪窓公園	<p>多目的グラウンドや野球場、遊具（チビッコ広場）が整備されている。ソメイヨシノ等が植栽されている。公園内からは、植栽木のあいだに平尾富士が視認される。</p> <p>公園の周囲は常緑樹であるため、見通しについては季節による大きな変化はみられない。</p>
⑤ 龍神の杜公園	<p>円形ステージや遊具、グラウンドが整備されており、ソメイヨシノ等が植栽されている。公園内からは、植栽木のあいだに平尾富士がわずかに視認される。</p> <p>秋季・冬季には落葉により色彩や見通しが変化する。</p>
⑥ 御代田町役場	<p>御代田町役場入口から、対象事業実施区域方向を眺望する地点である。町並みの背後に平尾富士が視認される。</p> <p>秋季・冬季には役場内の樹木の落葉により、色彩や見通しに変化する。</p>
⑦ <small>おごせ</small> 越生学園グラウンド付近	<p>越生学園グラウンド北側の道路から、対象事業実施区域方向を仰望する地点である。標高がやや高くなっており、平尾富士及び八ヶ岳連峰を望むことができる。佐久スキーガーデンパラダ（北パラダ）のゲレンデも視認される。</p> <p>秋季・冬季には落葉により色彩が変化する。</p>
⑧ ふるさと大橋	<p>湯川に架かるふるさと大橋から、対象事業実施区域方向を眺望する地点である。佐久スキーガーデンパラダ（北パラダ）のゲレンデとともに対象事業実施区域が視認される。</p> <p>秋季・冬季には落葉により色彩や見通しに変化する。</p>

14-2 予測及び評価の結果

1. 供用時における建築物・工作物等の存在に伴う景観資源・構成要素及び主要な景観への影響

1) 予測結果

予測地点からの景観の変化の状況は、表 5-14-4 及び図 5-14-2(1)～(11)に示すとおりである。

表 5-14-4 予測地点からの景観の変化の状況

予測地点	景観の変化の状況
①a 佐久スキーガーデンパラダ (北パラダセンターハウス)	現況では、主にゲレンデや法面及び樹林地により景観が構成されている。供用後は、センターハウスの奥に計画施設が出現し、植栽された緑の後方に建物の西面及び南面の上部及び煙突が視認される。建物の色彩が周辺の樹林地と同系色となり周辺と調和するような配慮がなされているものの、背景となる樹林が形成する稜線が一部分断されるなど、景観に変化が生じるものと予測する。
①b 佐久スキーガーデンパラダ (北パラダゲレンデ)	現況では、近景にはゲレンデやリフト等が、遠景には浅間山が眺望できる。供用後は、センターハウスの右手に計画施設が出現し、植栽された緑の後方に建物の西面の上部及び煙突が視認される。浅間山の裾野から続く稜線に対して、建物の上部と煙突が一部高くなっているなど、景観に変化が生じるものと予測する。
② 中山道小田井宿跡	周辺の建物等に遮られることにより計画施設は視認されないことから、景観の変化はないものと予測する。
③ 飯綱タウン (夏季・秋季)	現況では、畑やビニールハウス、平尾富士による田園風景が形成されている。供用後は、畑や樹林地の後方に計画施設の建屋及び煙突の一部が視認される。周辺と調和するよう色彩等に配慮することにより、周辺景観との調和が図られ、景観の変化は小さいものと予測する。
④ 雪窓公園	公園周辺の樹木や遠方の樹林地に遮られることにより計画施設は視認されないことから、景観の変化はないものと予測する。
⑤ 龍神の杜公園	公園周辺の樹木等に遮られ計画施設を視認されないことから、景観の変化はないものと予測する。
⑥ 御代田町役場	中近景の住宅等に隠れることにより、計画施設は視認されないことから、景観の変化はないものと予測する。
⑦ 越生学園グラウンド付近	現況では、眼下に越生学園グラウンド、遠方には平尾富士及び八ヶ岳連峰が視認される。供用後は、遠方に広がる平尾富士のふもとに、計画施設がわずかに視認される。建物等は周辺と調和するよう色彩等に配慮することにより、周辺景観との調和が図られ、景観の変化は小さいものと予測する。
⑧ ふるさと大橋 (夏季・秋季)	現況では、近景には橋梁の高欄、その遠方には平尾富士及びゲレンデが視認される。供用後は、平尾富士の中腹に計画施設が出現し、建物の西面、南面の上部及び煙突が視認される。スカイラインの変化はなく、建物等は周辺と調和するよう色彩等に配慮することにより、周辺景観との調和が図られ、景観の変化は小さいものと予測する。



【現況】



注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

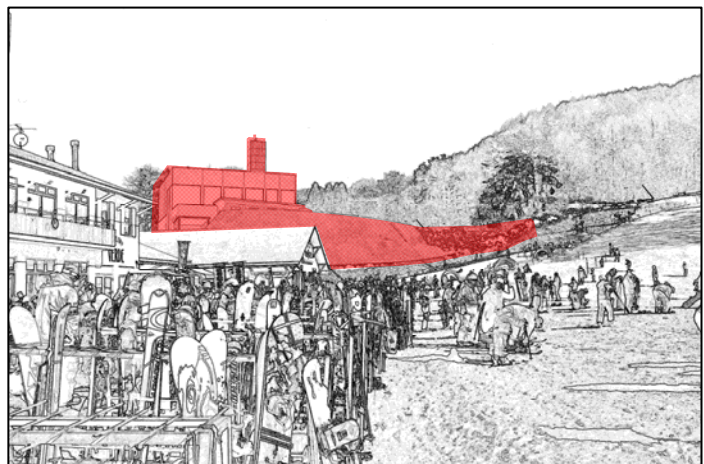


図 5-14-2(1) 予測地点からの景観の変化の状況
 (①a 佐久スキーガーデンパラダ (北パラダセンターハウス))



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

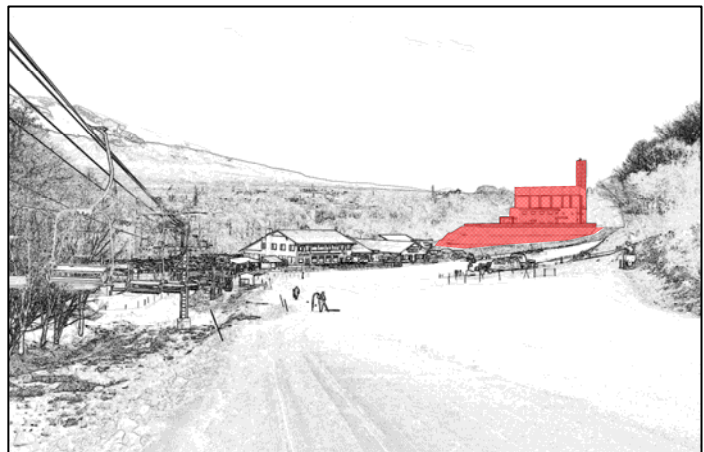


図 5-14-2(2) 予測地点からの景観の変化の状況
 (①b 佐久スキーガーデンパラダ (北パラダゲレンデ))



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

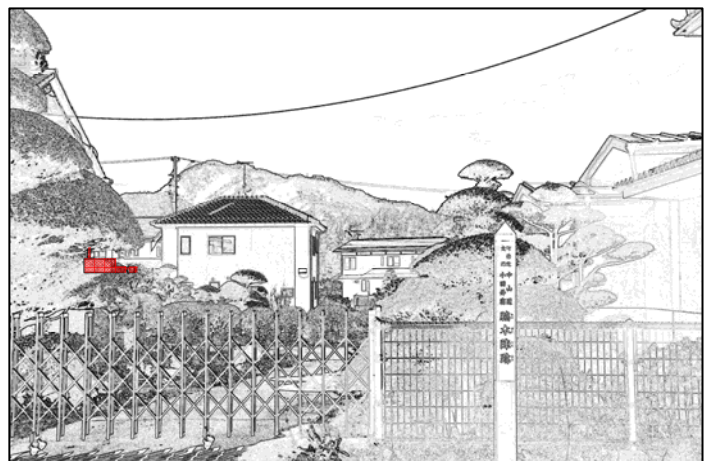


図 5-14-2(3) 予測地点からの景観の変化の状況 (②中山道小田井宿跡)



【現 況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

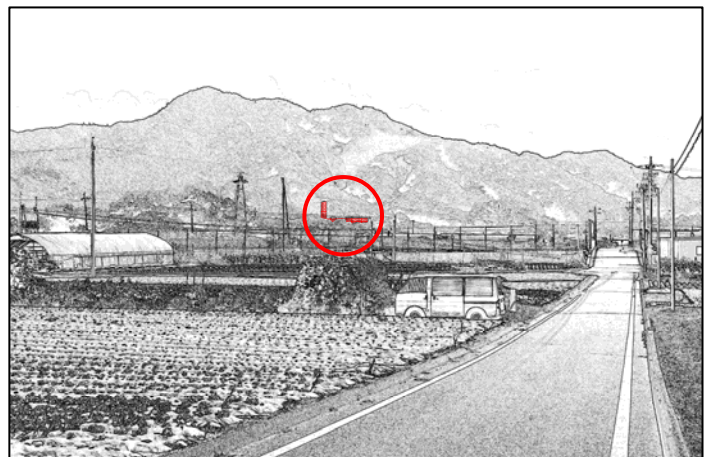


図 5-14-2(4) 予測地点からの景観の変化の状況 (③飯綱タウン (夏季))



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

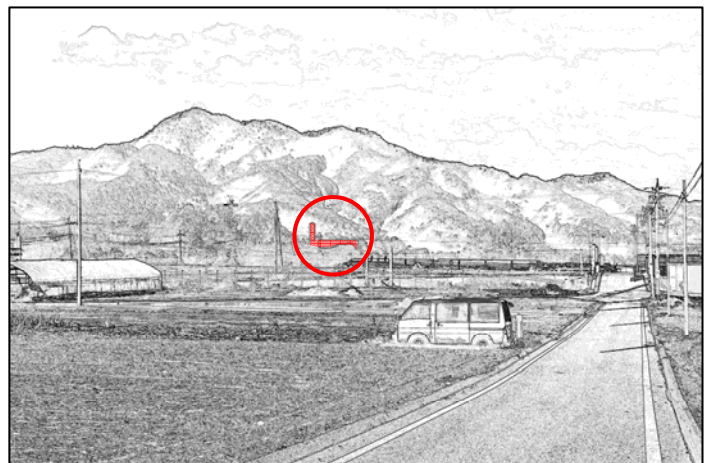


図 5-14-2(5) 予測地点からの景観の変化の状況 (③飯綱タウン (秋季))



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

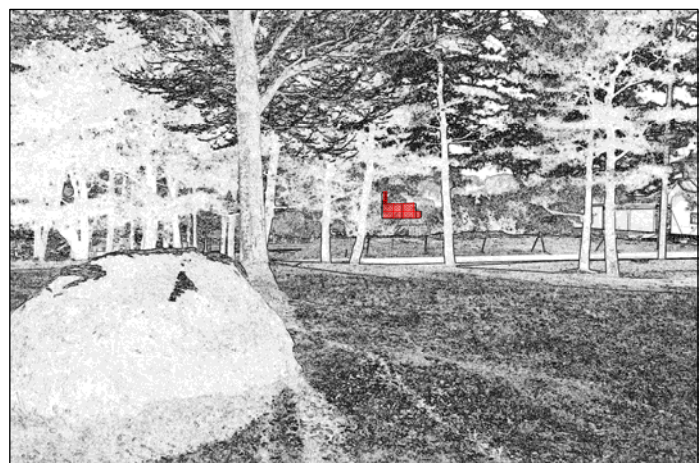


図 5-14-2(6) 予測地点からの景観の変化の状況 (④雪窓公園)



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

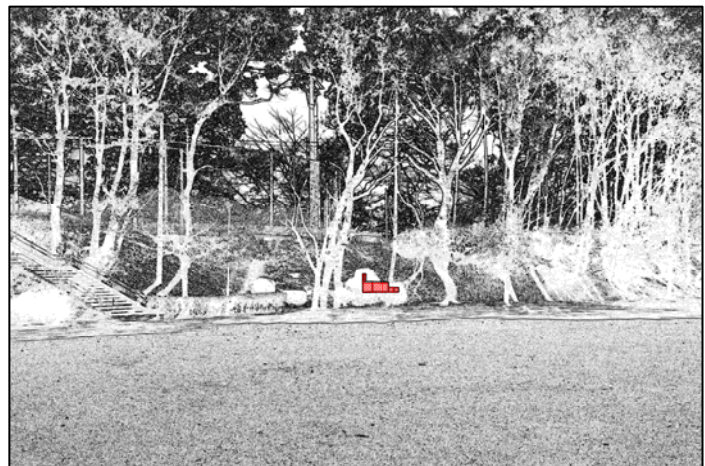


図 5-14-2(7) 予測地点からの景観の変化の状況 (⑤龍神の杜公園)



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

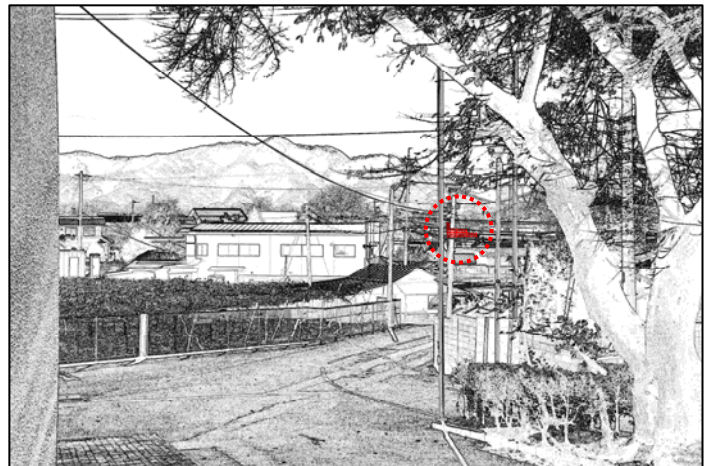


図 5-14-2(8) 予測地点からの景観の変化の状況 (⑥御代田町役場)



【現 況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

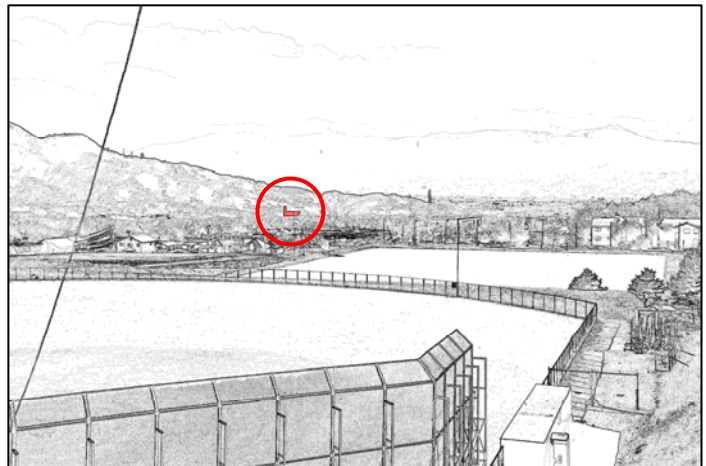


図 5-14-2(9) 予測地点からの景観の変化の状況 (⑦越生学園グラウンド付近)



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。



図 5-14-2(10) 予測地点からの景観の変化の状況 (⑧ふるさと大橋 (夏季))



【現況】



【工事完了後】

注) 工事完了後の写真の表現については、現時点でのイメージである。

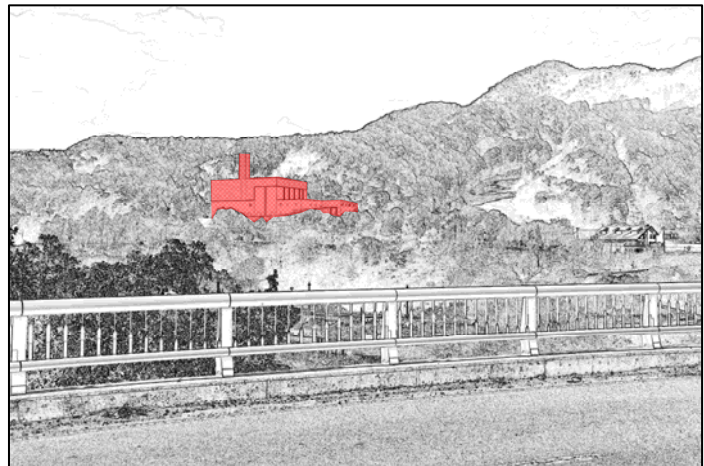


図 5-14-2(11) 予測地点からの景観の変化の状況 (㊸ふるさと大橋 (秋季))

2) 環境保全措置の内容と経緯

供用時における建築物・工作物等の存在に伴う景観資源・構成要素及び主要な景観への影響を緩和するためには、施設の色彩や形状等への配慮が考えられる。

本事業の実施においては、できる限り環境への影響を緩和させることとし、表5-14-5に示す環境保全対策を講じる。

表5-14-5 環境保全措置

(建築物・工作物等の存在に伴う景観資源・構成要素及び主要な景観)

環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類 ^{注)}
施設色彩等への配慮	施設外壁の色彩の検討にあたっては、周辺の景観に配慮しながら、地域において違和感のない色を選択する。	最小化
施設形状等の検討	周辺環境と調和のとれた親しみやすいデザインとし、ボリュームのある建物をやわらげ、圧迫感を感じさせないものとする。	最小化
周辺景観と調和する緑化の実施	施設外周部には景観に配慮した樹種により緑化を行うことで、景観に及ぼす影響を緩和させる。	低減

注)【環境保全措置の種類】

回避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。

最小化：実施規模又は程度を制限すること等により、影響を最小化する。

修正：影響を受けた環境を修復、回復又は復元すること等により、影響を修正する。

低減：継続的な保護又は維持活動を行うこと等により、影響を低減する。

代償：代用的な資源もしくは環境で置き換え、又は提供すること等により、影響を代償する。

3) 評価方法

調査及び予測の結果並びに検討した環境保全措置の内容を踏まえ、以下の観点から評価を行った。

① 環境への影響の緩和の観点

景観に係る環境影響が、実行可能な範囲でできる限り緩和され、環境保全についての配慮が適正になされているかどうかを検討した。

4) 評価結果

(1) 環境への影響の緩和に係る評価

計画施設による景観の変化については、基本的に影響は小さいと考えられるものの、対象事業実施区域に近い地点(佐久スキーガーデンパラダ、ふるさと大橋)については景観の変化が生じるものとする。このため、事業の実施にあたっては、「2) 環境保全措置の内容と経緯」に示したように、事業者としてできる限り環境への影響を緩和するため、「施設色彩等への配慮」、「施設形状等の検討」、「周辺景観と調和する緑化の実施」といった環境保全措置を講じる計画である。

以上のことから建築物・工作物等の存在に伴う景観資源・構成要素及び主要な景観への影響については、環境への影響の緩和に適合するものと評価する。

